

## 不動産業Web2.0への道 / パラダイムシフトが大転換

皆様、パラダイムシフトという言葉はご存じですよ。Paradigm Shiftとはある時、核爆発を起こすような臨界点がやってきて、物事（ここではインターネット・Webの活用）が革命的、非連続的に変化を始める局面のことを指す（らしい）のですが、社会的現象として喧伝され始めているWeb2.0を「パラダイムが変わりつつあることの総称としてWeb2.0があった」（『いい感じ』 / 「Web2.0」（[http://kwmr.blogzine.jp/kanji/2006/05/web20\\_3329.html](http://kwmr.blogzine.jp/kanji/2006/05/web20_3329.html)））という指摘（これは慧眼です！）と重ねると、今がどんな時代なのかよくわかってきます。

つまり、インターネットの活用が1995年前後の黎明期から10余年を経る中で、社会的なインフラとしてすっかり定着し、2005 - 06年からはインターネットの便利さを具現するWebの上で様々な世界（これは想像を超えたものになるでしょう！）を切り開いていく（これをできる体験者も一般ユーザーを含めて大量に登場してきています！）という時代が始まったのだといえるでしょう。

こうしたパラダイムシフトの大転換の中で、不動産業の現場にもWeb2.0が急速に下りてきました。今回は、不動産業でもWeb2.0を実践していくための視点をいくつかガイドしてみることに致しましょう。

〔ガイド1〕 石川県不動産情報(uhブログ) (<http://blog.livedoor.jp/urbanhome/>) に例えば、こんな記事が見つかりました。「注目記事を紹介します / 企業のWebマスターのための...Webマスターがすべきこと あなたがすべきことは、Webサイトの目的を明確に業者に伝えることです。誰がターゲットユーザーで、その人たちにどんな体験をしてもらいたいか。それによってあなたの会社はユーザーといかなる関係を築きたいのか。そういうことをいつ聞かれても明確に伝えることこそがあなたの最大のタスクです」。実はこれ、企業のWebマスターのための「せめてこれだけは使っておこう」

(<http://gitanez.seesaa.net/article/19015653.html>) からの紹介なのですが.....。

〔ガイド2〕 6月23日 / この日を始まりの日にしたい。手前みそで恐縮ですが、FDJ社では6月23日に恒例のインターネット戦略セミナーを開催致します。テーマは「始まったWeb2.0の新世紀 / 「サービスポリシー宣言」があなた（の会社）を救う / 今すぐに宣言を！ >（【宣言を行ってもよい会社の条件とは】を半日で学ぶ）というもの。今夏から確実に流行って来る究極の応接術 Web20の実践で家探しユーザーに向けた切り札となる〔Service Policy〕宣言！の上辺でない仕掛け方を一緒に学んで参りませんか。

ところで、私はWeb2.0 時代を生き抜く知恵として、最近「Cicada 7 days」という言葉に注目しています。Cicada（シケイダ）とは日本語で「せみ」（その命は7日間と言われている）という意味ですが、これはパラダイムシフトの大転換が始まっている中で、インターネット・Webの世界で起きている改革のスピードを理解していくための新しい認識論（？）です。インターネット実用化の黎明期から、ネットの社会的インフラ化が進むまでのおよそ10年間におけるスピード感は、カレンダーの1年が7年に相当する早さで進むことからDog Yearと言われてきました。それが、2005 - 06年には新しいカレンダーとしてCicada 7 days（7日で変わる）という超スピードの“区切り感”が登場してきたのです。

「Dog YearからCicada 7 daysへ」という合言葉は、きつ過ぎますか。